

タケダ・ウェルビーイング・プログラム2025 助成の概要と推薦理由

助成番号 25-3-1

プロジェクト名	病気があっても主役になれる子ども育成プロジェクト～みんなでやってみよう！スポーツ、音楽etc. 心に寄り添う居場所づくり～
団体名	認定特定非営利活動法人 心臓病の子どもを守る京都父母の会
代表者名	藤井 友紀
所在地	京都府
助成額	43万円
助成期間	2025年4月1日～2026年3月31日
設立年	1965年
URL	https://www.npopandaheart.com/



心臓病など内臓疾患を抱えている子どもは、退院後は一見、日常生活が送れているように見えるため、運動や勉強が健常児よりも苦手であったりすることが理解されにくい。

この団体は、心臓病などの病気を抱えた子どもたちや健常児も含む未就学児に、週2回の親子通園型保育の場「パンダ園」を運営している。また、きょうだいを対象としたイベント開催や就学相談など、病児家族の悩みに寄り添う支援事業にも取り組んでいる。

さらに、パンダ園を卒園した子どもたちが思春期を迎える頃、学校行事や部活、進路、友人関係など、さまざまな不安や悩みが生じるが、親や先生には相談しづらく、一人で抱え込んでいることが多い。

助成1年目には、彼らを対象としたプロジェクト「ティーンズパンダ」を実施。春や秋のスポーツ大会、マリンバ演奏会、保護者料理教室など、多岐にわたる体験型のイベントを行った。

助成2年目には、引き続き「ティーンズパンダ」の体験イベントの実施とともに、マルシェイベントにおいてティーンズが自ら企画し、出店・販売まで行うなど、チームとしての活動に取り組んだ。取り組んだ内容については、ティーンズがポスターにまとめ、活動のPRに繋げた。

2年間の活動により、ティーンズの主体性が育まれ、次なるティーンズにも活動が繋がりつつある。また、外部の協力者・応援者も確実に増えてきた。

3年目となる今回の助成では、ティーンズの子どもたちが主となる活動を柱にしつつ、大人になった時の生活を見据えて、障がい者雇用や就労の実際を知る勉強会等を開催する。本助成を通じて、「ティーンズパンダ」の役割や意義がより輝くものとなり、多くの応援者に届くとともに、未来のティーンズの希望に繋がることを期待する。